

★☆☆親切に、丁寧に、几帳面に、勤勉にありがとうと喜ばれる人になろう。★☆☆

CR 社内報《No.104》

～新たなストアコンセプト～

2008年 7月 11日

(有)カットルームコーポレーション

社内報編集室

社長報告

● ジャスコ三川店 (7月29日開店予定)

イオン三川ショッピングセンターはジャスコと56の専門店からなる2フロアの超大型の商業施設です。店舗面積41,200㎡、駐車台数3,300台、商圏人口250,000人、庄内全域を商圏と想定するため酒田市と鶴岡市に隣接する三川町に開発され、北側に隣接したアクロスプラザ三川、ルパークみかわショッピングスクエアと合わせた商業敷地面積は約32㍍となり、山形県下最大規模にとどまらない国内最大級の商業地帯と呼べるものです。

カットルームジャスコ三川店はこうした商業地帯の特徴とイオンSCのテナントの一員として、庄内エリアのカットルームの『フラッグシップ店』と位置付けます。そのためには先行(6月4日)オープンしたジャスコ山形南店での成功事例は積極的に取り入れていく必要があります。ファミリーを対象としたジャスコの客層をうまく取り入れるための対策として①キッズ専用電動カットイス(車の形をしたイス)導入②ファミリーをイメージする写真看板③天井高5㍍を活かした立体動物ディスプレイなどは子供女性の来客動機に寄与しました。これに加えフラッグシップにふさわしい大型の子供遊戯スペースを導入いたします。また大人の待合スペースも広くゆったりくつろげるように、5㍍の天井高がもたらす立体空間の特徴を十分活用していきたいと思えます。

ジャスコ三川店は『家族全員がお客様』を新たなストアコンセプトとします。ストアコンセプトを実現するためには①家族全員が一度にカットできるカットイス数(6座席以上)を設定②家族割引の強化(サービスカードの2倍ポイントセールとか家族割引デー等々)、そして1ヶ月に一度は家族全員がカットしてすっきりした気分になれるポピュラープライス(大衆価格)1000円の堅持です。従って店舗設備の内外装はローコストハイイメージでなければなりません。また損益分岐点の低い運営には日々の店舗オペレーションもローコストな運営でなければなりません。店舗は徹底的にお客様のカットサービスに専念する。そのためのチェーンストアとしての本部組織のバックアップ体制が必要となります。『ガソリンばかりか暮らしのすべてのものが値上がりする中であって本当に助かるわ』の声に励まされて庄内のフラッグシップストアとして『5年の年月は困難を可能にして、10年の歳月は不可能を可能にする』ための新たな挑戦です。